

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年2月8日

【四半期会計期間】 第96期第3四半期  
(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 櫻田 誠 司

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部本部長 木 船 亨

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部本部長 木 船 亨

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 当第3四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第3四半期 連結累計期間	第96期 第3四半期 連結累計期間	第95期
会計期間	自 2017年4月1日 至 2017年12月31日	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高 (千円)	15,257,315	15,200,210	19,846,515
経常利益 (千円)	1,146,866	1,416,574	1,225,644
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	748,500	167,738	793,862
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,393,497	492,508	1,146,019
純資産額 (千円)	17,105,044	16,005,215	16,857,556
総資産額 (千円)	24,000,813	22,046,855	23,290,014
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	27.88	6.25	29.56
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	71.4	73.0	72.6

回次	第95期 第3四半期 連結会計期間	第96期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2017年10月1日 至 2017年12月31日	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.41	11.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 「『税効果会計に関する会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に総じて緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦や米国政権の運営不安により先行き不透明な状況であります。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい販売状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,200百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1,245百万円（同42.2%増）、経常利益1,416百万円（同23.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益167百万円（同77.6%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 精糖

精糖事業においては、前半は菓子・冷菓向けの販売が好調に推移したものの、夏場の酷暑、台風の影響で飲料向け出荷が伸び悩み、期待された年末需要でも全体的に回復することはできず、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では液糖製造の集約化を進め、生産合理化を図ったことにより、引き続き、増益を維持することができました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高8,684百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益1,350百万円（同19.8%増）の減収増益となりました。

#### 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用、血中脂質の低減効果、食後血糖値の低減効果に関する3つの機能性表示が受理されたことに加え、低糖質素材の根強い需要もあり、国内での新規採用が増加したことにより増収となりました。切花活力剤「キープ・フラワー」については、テレビCMを実施し、拡販を図りましたが、花卉市場低迷が続き、概ね前年同期並みの売上高になりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品ゼラチン、ペクチンの販売が伸長し、増収となりました。

利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、第2四半期末において、固定資産の減損損失を計上したため、減価償却費の負担が軽減し、同社の業績が改善いたしました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高5,878百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益211百万円（前年同期営業利益13百万円）の増収増益となりました。

#### 不動産

不動産事業の業績は、売上高461百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益405百万円（同1.2%減）の増収減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

#### その他食品

その他食品は、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高176百万円（前年同期比59.7%増）、営業損失72百万円（前年同期営業損失99百万円）の増収増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.3%減少し、22,046百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ11.5%増加し、10,561百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ16.9%減少し、11,485百万円となりました。これは主に有形固定資産及び投資有価証券の減少等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.3%増加し、4,439百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ20.1%減少し、1,602百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5.1%減少し、16,005百万円となりました。これは主に時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、46百万円であり  
ます。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画  
についての著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2018年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年2月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年12月31日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2018年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2018年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,839,100	268,391	
単元未満株式	普通株式 13,300		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,391	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

## 【自己株式等】

2018年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,800		2,895,800	9.73

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2018年10月1日から2018年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,343,407	3,642,865
受取手形及び売掛金	2,806,196	2,813,762
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,055,612	2,061,420
仕掛品	131,970	110,297
原材料及び貯蔵品	700,988	568,474
その他	1,143,077	1,067,107
貸倒引当金	4,708	2,301
流動資産合計	9,476,545	10,561,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	809,036	474,264
機械装置及び運搬具(純額)	898,690	112,696
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	90,750	272
その他(純額)	92,129	74,077
有形固定資産合計	4,418,042	3,188,745
無形固定資産		
のれん	253,842	172,850
その他	112,890	125,109
無形固定資産合計	366,732	297,959
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000,310	6,048,874
関係会社長期貸付金	1,773,240	1,706,600
その他	270,421	264,470
貸倒引当金	15,278	21,420
投資その他の資産合計	9,028,694	7,998,523
固定資産合計	13,813,469	11,485,228
資産合計	23,290,014	22,046,855



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,460,091	1,361,953
短期借入金	1,809,568	1,843,793
未払法人税等	195,792	402,544
賞与引当金	118,123	56,984
その他	844,583	773,972
流動負債合計	4,428,159	4,439,249
<b>固定負債</b>		
長期借入金	548,097	426,445
退職給付に係る負債	18,251	-
資産除去債務	65,987	66,486
その他	1,371,962	1,109,459
固定負債合計	2,004,298	1,602,390
負債合計	6,432,458	6,041,639
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,743,913	11,547,844
自己株式	717,035	717,126
株主資本合計	14,600,682	14,404,521
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,255,650	1,644,804
為替換算調整勘定	73,507	70,014
退職給付に係る調整累計額	30,555	26,711
その他の包括利益累計額合計	2,298,602	1,688,108
非支配株主持分	41,727	87,414
純資産合計	16,857,556	16,005,215
負債純資産合計	23,290,014	22,046,855

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	15,257,315	15,200,210
売上原価	11,743,453	11,150,981
売上総利益	3,513,861	4,049,229
販売費及び一般管理費	2,637,961	2,803,283
営業利益	875,900	1,245,945
営業外収益		
受取利息	22,742	20,544
受取配当金	64,523	66,841
為替差益	51,883	2,593
持分法による投資利益	120,823	88,649
その他	33,364	30,706
営業外収益合計	293,337	209,335
営業外費用		
支払利息	22,309	23,135
その他	61	15,570
営業外費用合計	22,371	38,706
経常利益	1,146,866	1,416,574
特別利益		
固定資産売却益	264	-
投資有価証券売却益	-	503,769
特別利益合計	264	503,769
特別損失		
固定資産除却損	433	43
減損損失	15,285	1,145,100
投資有価証券売却損	-	3,267
投資有価証券評価損	-	23,163
投資有価証券償還損	2,472	-
特別損失合計	18,190	1,171,575
税金等調整前四半期純利益	1,128,939	748,768
法人税、住民税及び事業税	369,149	583,045
法人税等調整額	38,504	45,266
法人税等合計	407,654	628,311
四半期純利益	721,285	120,457
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	27,215	47,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	748,500	167,738

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	721,285	120,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	681,339	610,845
為替換算調整勘定	15,467	5,965
退職給付に係る調整額	6,340	3,844
その他の包括利益合計	672,212	612,965
四半期包括利益	1,393,497	492,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,421,428	445,015
非支配株主に係る四半期包括利益	27,930	47,492

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第3四半期連結会計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

第1四半期連結会計期間より、FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd.及びUNITEC FOODS KOREA CO.,LTD.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
太平洋製糖(株)	437,500千円	400,000千円
FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. (外貨建)	57,332千円 (16百万パーツ)	( )

FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd.は第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたため、注記には表示しておりません。

期末日満期日手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
受取手形		444千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
減価償却費	198,926千円	171,897千円
のれんの償却額	89,020千円	80,991千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年5月18日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	2017年3月31日	2017年6月8日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には記念配当1.00円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月21日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	2018年3月31日	2018年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,323,900	5,363,137	460,023	110,254	15,257,315		15,257,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,867		2,833		6,701	6,701	
計	9,327,768	5,363,137	462,857	110,254	15,264,017	6,701	15,257,315
セグメント利益 又は損失( )	1,127,524	13,541	411,095	99,312	1,452,849	576,949	875,900

(注) 1 セグメント利益の調整額 576,949千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,684,339	5,878,701	461,107	176,061	15,200,210		15,200,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,913	2,736	3,312	15,637	26,599	26,599	
計	8,689,253	5,881,437	464,419	191,699	15,226,810	26,599	15,200,210
セグメント利益 又は損失( )	1,350,292	211,692	405,988	72,971	1,895,001	649,056	1,245,945

(注) 1 セグメント利益の調整額 649,056千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて985,716千円、「その他食品」セグメントにおいて159,383千円の減損損失を計上しております。

## (金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	27.88円	6.25円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	748,500	167,738
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	748,500	167,738
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年2月7日

フジ日本精糖株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 中 康 宏

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 田 円

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2018年10月1日から2018年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の2018年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。